

平成 22 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 アキナジスタ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大林 浩  
(コード番号 2495 札証アンビシヤス)  
問合せ先 取締役 富樫 憲太郎  
(TEL. 03-3263-4666)

### 株式会社ページオーとの吸収合併契約締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において下記のとおり、平成22年9月10日を合併期日（予定）として、株式会社ページオー（以下「ページオー」という）を吸収合併すること（以下「本合併」という）を決議するとともに、本日、ページオーとの間で吸収合併契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。なお、特別利害関係人である取締役は、利益相反の観点から、本合併に係る決議には参加しておりません。

#### 記

##### 1. 合併の目的

###### (1) 本合併の目的

当社は当事業年度において業績改善のための施策として、現在急速に成長しているソーシャル・アプリケーション・プロバイダー（以下「SAP（\*1）」という）分野での事業展開を行う予定でありその準備を進めておりました。ページオーは、既に自社でアプリケーション開発やその運用を通じてSAP分野における相当のノウハウ、実績を蓄積している会社であります。当社はページオーを吸収合併することにより、当社がページオーの有するアプリケーションとそのノウハウを当社に統合することができ、成長著しいSAP分野で早期により確実な事業の展開が図れることとなります。またページオーは当社の経営資源を利用することにより更なるSAP事業の発展が可能となります。当社及びページオーは本件合併が両社のSAP事業展開の上で最善の施策であると判断し、本日、合併契約を締結するに至りました。

本合併により、当社のSAP分野における事業展開を開始し、早期の業績改善を実現してまいります。

## (2) 利益相反を回避するための措置

当社代表取締役社長大林浩（以下「大林」という）はピージーオーの筆頭株主である主要株主であります。当社及びピージーオーは、利益相反を回避するための措置として、大林を、特別利害関係を有する取締役及び株主に該当するおそれがあると判断し、大林は当社の取締役会及びピージーオーの株主総会における本合併の議案に関する審議並びに決議には参加しておりません。

## (3) 公正性を担保するための措置

当社は、当社代表取締役社長である大林浩がピージーオーの筆頭株主である主要株主でもあることから、本合併の条件及び必要な手続についての公正性・妥当性を確保するため、慎重な手続を経る必要があると判断いたしました。

具体的には、まず、両社は、それぞれ両社から独立した第三者算定機関を選定しました。第三者算定機関として、当社は杉本沢公認会計士事務所（以下「杉本事務所」という）に、ピージーオーは株式会社クリアコンサルティング（以下「クリアコンサルティング」という）にそれぞれ合併比率の算定を依頼し、その結果を受領いたしました。

また、当社は、本合併の検討プロセス等について、法務アドバイザーとして弁護士法人かすが総合より法的な観点からの助言を得て、それらの内容を参考にしております。さらに当社取締役会（大林は不参加）は、平成22年7月20日にピージーオー及び本合併に特別の利害関係を有しない社外監査役2名に対し、当社の取締役会の意思形成過程の公正性を担保するために、取締役会に意見を提出するよう依頼し、社外監査役2名は、平成22年7月30日、当社の取締役会に対して、本合併の是非、合併比率を含む合併条件に関する取締役会の意思決定方法及びその内容は適正であり、不当な点は認められないものであるとの意見を提出しています。

## 2. 合併の要旨

### (1) 合併の日程

合併決議取締役会	平成22年7月30日
合併契約締結	平成22年7月30日
合併承認株主総会（ピージーオー）	平成22年7月30日
合併の予定日（効力発生日）	平成22年9月10日（予定）

(注) 本合併は、会社法第796条第3項に定める簡易合併の規定により、当社において合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行う予定です。

なお、今後、合併手続を進める中で合併の実行に支障をきたす重大な事由が生じ

た場合等には、両社協議の上、日程、手続、条件等を変更し、または本合併を中止する場合があります。

## (2) 合併の方式

当社を吸収合併存続会社、ページオーを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式となります。

## (3) 合併比率

会社名	アキナジスタ株式会社（存続会社）	株式会社ページオー（消滅会社）
合併比率	1	8

### (注) 1. 株式の割当比率

ページオーの普通株式1株に対して、当社の普通株式8株を割当交付いたします。

### 2. 合併による自己株式の割当

当社は新株式を発行することなく、当社の保有する自己株式1,200株をページオーの株主に割当交付いたします。

## (4) 合併比率の算定根拠等

### ①算定の基礎

当社及びページオーは、合併比率の算定の公正性を担保するため、それぞれ両者から独立した第三者算定機関として杉本事務所及びクリアコンサルティングを選任し、合併比率の算定を依頼しました。

a) 杉本事務所は、本合併における算定手法を検討した結果、当社については当社が上場しており市場株価が存在していることから直近の重要事実公表日から算定基準日までの平均株価による市場株価平均法による算定を行い、また、市場株価平均法に加え多角的に分析することが必要と考え、修正純資産価値法、将来の事業活動の状況を反映するために財務予測に基づくディスカウント・キャッシュフロー法（以下「DCF法」という）の結果も総合的に勘案して算定し、ページオーについては非上場株式であり市場で形成された株価が存在しないため、修正純資産価値法及びDCF法による分析結果を総合的に勘案して算定しました。

算定方法		合併比率
当社	ページオー	(当社=1.00)
市場株価平均法に修正純資産価値法、DCF法を加味	修正純資産価値法及びDCF法	4.741~5.789

(注) 市場株価平均法においては、直近の重要事実公表日である平成22年5月17日を中心に、算定基準日である平成22年7月16日までの札幌証券取引所アンビシャスにおける当社普通株式の終値平均株価を採用いたしました。

b) クリアコンサルティングは、本合併における算定手法を検討した結果、当社については当社が上場会社であり、市場株価が存在することから市場株価平均法による算定を行い、ピージーオーについては非上場会社であり株価が存在せず、また上場会社との合併を行う観点から、類似した他の上場会社との比較による類似会社比準法による算定を実施しております。

算定方法		合併比率 (当社=1.00)
当社	ピージーオー	
市場株価平均法	D C F 法と類似会社比準法	12~17

(注) 市場株価平均法においては、平成22年7月9日を算定基準日として、算定基準日まで1ヶ月間・3ヶ月間・6ヶ月間の札幌証券取引所アンビシャスにおける当社普通株式のそれぞれの終値平均株価を、単純平均した数値を採用いたしました。

## ②算定の経緯

当社及びピージーオーは、杉本事務所及びクリアコンサルティングから入手した合併比率算定書における算定結果を参考として、両社の財務状況、資産状況、将来の見通し等を総合的に勘案し、両社で協議を重ねた結果、最終的に上記合併比率が妥当であるとの判断に至り合意いたしました。

## ③算定機関との関係

算定機関である杉本事務所およびクリアコンサルティングは、当社及びピージーオーの関連当事者には該当いたしません。

## (5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

### 3. 合併当事会社の概要

(アキナジスタ株式会社：平成22年3月31日現在、株式会社ページオー：平成22年6月30日現在)

(1) 商号	アキナジスタ株式会社(存続会社)	株式会社ページオー(消滅会社)
(2) 事業内容	アドネットワーク事業、インターネット広告代理事業	ソーシャル・アプリケーション事業
(3) 設立年月日	平成12年7月24日	平成20年11月18日
(4) 本店所在地	東京都千代田区	東京都港区
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大林 浩	代表取締役 岩田 利彦
(6) 資本金	350,000千円	3,000千円
(7) 発行済株式数	19,508株	150株
(8) 純資産	247,672千円	4,536千円
(9) 総資産	428,340千円	5,774千円
(10) 決算期	3月31日	10月31日
(11) 従業員数	24名	1名
(12) 主要取引先	(株)ファーストビット (株)フォーサイトドットコム (株)ブレインネッツ	(株)トレジャープラネット (株)Donuts
(13) 大株主及び持株比率(平成22年6月30日現在)	アキナジスタ(株)：59.30%	大林 浩：46.67%
	中岡 元志：5.53%	岩田 利彦：20.00%
	西澤 岳志：2.86%	(株)Donuts：20.00%
	カブドットコム証券(株)：2.37%	Innovating.jp(株)：6.67%
	大林 浩：2.35%	近藤 勝俊：6.67%
	間瀬場 敦：2.20%	-
	デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)：2.05%	-
	投資事業組合オリックス10号：1.64%	-
	投資事業組合オリックス9号：1.43%	-
	(株)SBI証券：1.41%	-
(株)サイバーエージェント：1.23%	-	

(14) 主要取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行	みずほ銀行
(15) 当事会社間の 関係	資本関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
	人的関係	当社代表取締役社長大林浩はピージーオーの筆頭株主である主要株主であります
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

(注) アキナジスタ株式会社は平成22年4月9日付けにて減資を行い、現在の資本金は100,000千円となっております。

(16) 最近3年間の業績

(単位：千円)

決算期	アキナジスタ株式会社 (存続会社)					
	(連結)			(単体)		
	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期
売上高	461,077	-	-	423,882	331,882	1,494,965
営業利益	△119,652	-	-	△101,154	△115,725	△104,500
経常利益	△129,677	-	-	△126,074	△111,592	△113,402
当期純利益	△345,534	-	-	△352,859	△132,276	△204,129
1株当たり当期純利益 (円)	△44,747.40	-	-	△45,696.04	△13,514.16	△10,806.97
1株当たり配当金 (円)	-	-	-	-	-	-
1株当たり純資産 (円)	-	-	-	50,892.87	37,010.70	13,171.27

(注) 1. 当社は、平成21年3月期より連結財務諸表を作成していないため、平成21年3月期及び22年3月期は連結の数値を記載しておりません。

2. 当社は、平成20年3月期は連結貸借対照表を作成していないため、連結の1株当たり純資産の数値を記載しておりません。

(単位：千円)

	株式会社ピージーオー (消滅会社) (単体)
決算期	平成 20 年
	10 月期
売上高	5,073
営業利益	△14
経常利益	△14
当期純利益	△14
1株当たり当期純利益(円)	△144.98
1株当たり配当金(円)	-
1株当たり純資産(円)	9,855.02

(注) 1. ピージーオーは、平成20年11月18日設立のため、1期分の業績のみの表示となっております。

#### 4. 合併後の状況

(1) 商号	アキナジスタ株式会社
(2) 事業内容	アドネットワーク事業、インターネット広告代理事業、ソーシャル・アプリケーション事業
(3) 本店所在地	東京都千代田区
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大林 浩
(5) 資本金	100,000 千円
(6) 純資産	未定（現時点では確定しておりません。）
(7) 総資産	未定（現時点では確定しておりません。）
(8) 決算期	3月31日

#### (9) 会計処理

本合併は、「企業結合に係る会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）における「取得」に該当するため、パーチェス法により会計処理されます。

取得原価は、被取得企業から取得した資産及び引受けた負債の企業結合日時点の時価を基礎として、各資産及び負債に配分いたします。

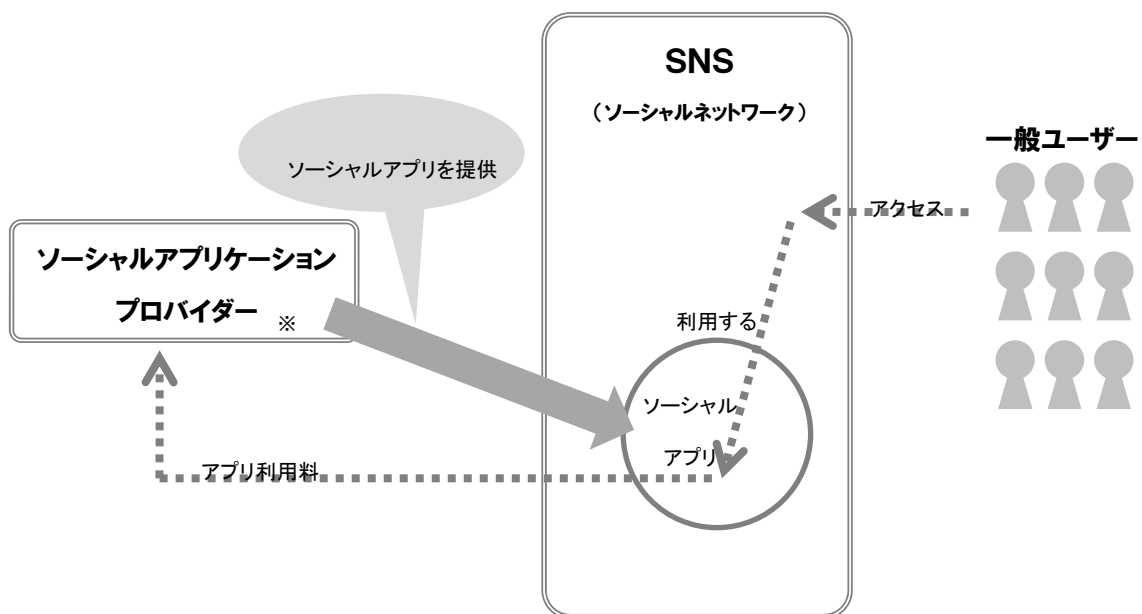
当該取得原価の配分の結果、「のれん」の発生が想定されますが、少額となる予定であります。

(10) 今後の見通し

本合併が、業績に与える影響は現在算定中であり、開示すべき変動が見込まれる場合は速やかに開示いたします。

\*1 ソーシャル・アプリケーション・プロバイダー（SAP）事業

mixi、モバゲータウン、GREE等のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）上にゲームや各種ツールなどのサービス提供を行い、ユーザーからの利用料を得る事業のこと。



以 上